

Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

アジアグランドクルーズ、始まります！

Date : 2019/01/28 緯度 : N 35度 27分 経度 : E 139度 39分 天気 : 曇りのち晴れ 気温 : 12.2度

速度 : -ノット

海域 : - 寄港地 : 横浜



旅の始まりはいつも私たちを特別な気分にさせてくれるものですが、それが船旅、しかもロングクルーズとなればその思いもひとしおです。出国手続きを済ませて飛鳥IIの船内に一步踏み入れれば、そこはもう別世界。プロムナードデッキから眺めると、見慣れた景色がいつもより遠くの存在に感じられるのだから不思議なものです。

14時、ついに横浜・大さん橋を出港。大勢の方々がお見送りにいらっしゃる中、小さな子供たちが声を合わせて「いってらっしゃーい！」と元気な声を響かせていました。おそらくはお客様どなたかのお孫さんなのでしょうが、しばしの別れの寂しさを振り切ろうと懸命に張り上げたその声は、これから同胞として旅立つ私たち全員にも等しく届けられているようでした。

大勢のお客様が乗船する神戸を明日に控え、船内は終日落ち着いた雰囲気。初乗船のお客様はクルーズスタッフの案内で船内の各施設を巡っていらっしゃいましたが、お気に入りの場所は見つかったでしょうか？ 夕食後にはギャラクシーラウンジでアスカオーケストラによるバンドショーが開演し、息の合った演奏でクルーズ初日の夜を華やかに彩っていました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

旅の門出を祝う鏡開き

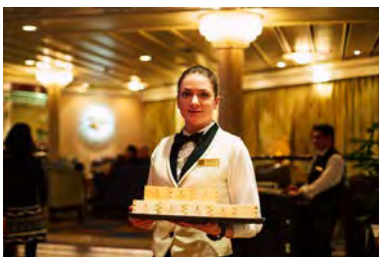
Date : 2019/01/29 緯度 : N 34度 41分 経度 : E 135度 12分 天気 : 曇り 気温 : 7.0度 速度 : -ノット
海域 : - 寄港地 : 神戸



横浜出港から一夜明け、飛鳥IIは紀伊半島を右舷側に見ながら航行を続けていました。可航幅の狭い友ヶ島水道を抜けて神戸港に入港したのは予定通りの午後2時。船内に続々とお客様を迎え入れるなか、キャビンフロアの通路にお客様の荷物がポツポツと置かれた様子を見て、つい昨日の高揚が少し遠くのことに感じられるような、そんな懐かしい気持ちになりました。

パームコートでウェルカムドリンクを楽しまれた後は、いよいよ出港の時。プロムナードデッキから勢いよく投げ込んだ大量の紙テープは、岸壁をカラフルに彩り、船体が離岸した後も名残惜しそうにお客様の手と陸とを引き止めていました。空に目を向けると、旅のはなむけに放たれた風船が、柔らかな風に乗って夕日に染まり始めた空をどこまでも高く飛んでいきました。

夜にはお客様が揃ったこの記念すべき日に旅の安全を祈ってアスカプラザで鏡開きが行われました。操船中の堤船長に代わって場を取り仕切るのは高木副船長。そしてサプライズゲストとして御年100歳という船内最高齢のお客様もご登壇されました。掛け声に合わせていざ鏡開き！ お酒は飛鳥IIのロゴの刻印が入った枰に注がれ、お客様に盛大に振る舞われました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

華やかなフォーマルナイト

Date : 2019/01/30 緯度 : N 30度 25分 経度 : E 131度 3分 天気 : 曇りのち雨 気温 : 16.0度

速度 : 18.5ノット

海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



今日は午前中から船内では各教室の説明会が開かれ、船内はいよいよクルーズが本格的にスタートするといったムードが漂います。小雨混じりの天気も徐々に回復し、肌寒さも昨日までと比べていくぶん穏やかになった印象で、午後には屋久島の山容をはっきりととらえることもできました。そしてそれはまた、日本とのお別れの時が近づいていることを実感させる景色でもありました。

夕方16時過ぎ、まだ空が明るい時分からギャラクシーラウンジの前にはフォーマルな出で立ちのお客様が集まっていました。キャプテンズ・パーティーの開催です。堤船長との記念撮影のあとは、プロダクションショー「オペラ・ハイライト」、そして船長以下シニアオフィサーの面々が一同に介してのご挨拶と40分間のパーティーはあっという間に時が過ぎました。

パーティーのあとはフォーシーズン・ダイニングルームへ。西口総料理長おすすめの佐賀県産和牛を使用した黒毛和牛フィレ肉のポワレに舌鼓を打ち、余韻冷めやらぬなか続いて岩崎宏美さん、国府弘子さんによるスペシャルステージへと足を運びます。長い夜となりましたが、お客様はみな慣れたご様子でフォーマルナイト特有の華やかな雰囲気を楽しんでいらっしゃいました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

出会い多き日

Date : 2019/01/31 緯度 : N 27度 1分 経度 : E 124度 8分 天気 : 晴れ 気温 : 23.0度 速度 : 18.2ノット
海域 : 東シナ海 寄港地 : 終日航海日



本クルーズ初めてのフォーマルナイトを終えて船内生活も徐々に落ち着きを見せ始めたこの日の午後、新たな旅仲間を作るための交流の場が各所で持たれました。午後のはじめには県人会、そして夕方には初乗船者パーティー。飛鳥IIでの出会いは一生モノとなることも少なくありません。今日もまたこうしたイベントがきっかけとなり芽生えた仲があったのではないのでしょうか。

そして夜には立川談四楼師匠・只四楼さんの寄席を開催。「飛鳥IIのお客様は日本全国からお集まりなさっているということで」と談四楼師匠が披露したのは、上方を代表する落語家・桂米朝師匠原作の「一文笛」の舞台を大阪から江戸に移したいわばリメイク版。妙味のある語り口にずっと引き込まれ、東シナ海の洋上にいることを一時忘れてしまいそうになりました。

今日は前線の影響で風が強まり、プロムナードデッキは終日クローズに。見るべき景色にはなかなか出会えない一日でしたが、せめてもと眺めた航路図には最終寄港地である台湾の基隆が付近に映し出されていました。曇り空でその姿こそ見えませんが、霞がかった水平線の向こうにはアジアの国々がもうすぐそこまで迫っているようです。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

船上生活の楽しみ

Date : 2019/02/01 緯度 : N 23度 8分 経度 : E 117度 30分 天気 : 曇り 気温 : 16.0度 速度 : 17.5ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



早朝に今航初の時刻改正を行い、日本との時差はマイナス1時間となりました。本日で連続航海日は3日目。香港入港を明日に控え、5デッキのアスカプラザにはツアー情報や観光情報が掲示され、船内の空気も少しずつ高揚していくのを感じます。午後には入港時刻が早まるとのアナウンスがあり、うまくいけば停泊中の船内から香港の夜明け姿が見られそうです。

船上での生活が長くなると、大きな楽しみとなるのが各種教室やイベント。そして筆者が個人的に楽しみにしていたのが14時から開催された作詞家の森浩美さんの講演です。「作詞家という職業」をテーマに、華あるアーティストの裏方として数々のヒット曲を手がけてきた森さんの作詞論や制作裏話などを伺う貴重な機会となりました。

パームコートでは、昨日の初乗船者パーティーに引き続きシングルス・パーティーを開催。今航では148名ものおひとりさまが乗船されているとのことで、初乗船者パーティー同様にこちらのパーティーも盛り上がりを見せていました。また体を動かすことが好きな方々にはダーツ教室などのアクティビティも大人気。得点に一喜一憂する姿はほほえましくもありました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

香港の夜

Date : 2019/02/02 緯度 : N 22度 18分 経度 : E 114度 10分 天気 : 晴れ 気温 : 20.8度 速度 : 13.1ノット
海域 : - 寄港地 : 香港



寝ぼけ眼をこすりながらオープンデッキへ顔を出すと、飛鳥IIは夜明け前の静けさに包まれたヴィクトリア・ハーバーをゆっくりと航行中でした。香港島から漏れた街明かりが靄で覆われた空を怪しげに照らしていましたが、オーシャン・ターミナルに着岸する頃には闇は力を失い、周囲の景色は何事もなかったかのように平静を取り戻していました。

午前中は空を覆う雲はやや厚めでしたが、それでもツアーで訪れたヴィクトリア・ピークからは眼下にうっすらと飛鳥IIの姿を確認することができました。午後からは天気も回復し、太陽の光を浴びて香港の街並みも一段と活気に満ちた様子に。ターミナルからほど近い尖沙咀エリアを中心に、個人で散策やお買い物を楽しまれた方も多かったのではないのでしょうか？

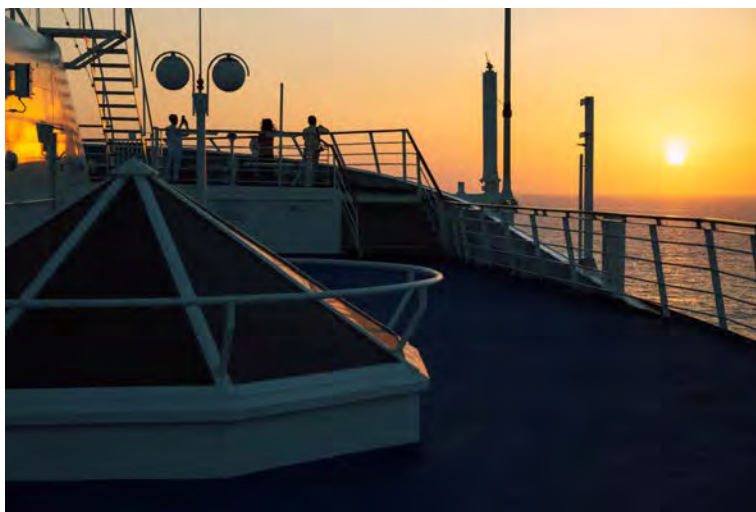
多くのお客様にとってのハイライトは出港の時であったかもしれません。節分にちなんだボン・ヴォヤージュでプールサイドが笑顔に包まれた後、ゆっくりと離岸すると、まるで巨大な絵巻物でも見ているように香港の夜景が次々と私たちの眼前を流れていきました。やがてパーティーのほとぼりとともに街明かりは遠くに去りゆき、飛鳥IIはまた次の寄港地を目指し進みます。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

節分の日

Date : 2019/02/03 緯度 : N 19度 3分 経度 : E 111度 14分 天気 : 晴れ 気温 : 24.5度 速度 : 15.9ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



横浜を出港してから早一週間。今日は朝から青空が広がっていました。プールサイドですれ違ったお客様同士が交わす「今日は暑いですねえ」という会話もどこか嬉しそうで、東南アジアへ向かっていることを感じさせてくれました。夕日も見事なもので、辺りの空を赤く染め上げながら船首右舷側の海に沈む太陽を存分に見届けることができました。

船内ではさまざまなアクティビティーが催され、筆者の写真教室も無事初回を迎えられました。緊張した気持ちを和らげようと向かったパームコートでは、ちょうど日本茶と和菓子のティータイムが開催中。今後もさまざまなアフタヌーンティーを準備しているようですが、なかでもこの日本茶ティータイムはお客様にとっても好評なのだそうです。

フォーシーズンでの夕食もまた遠く日本を感じさせてくれる気配りが。2月3日ということで、節分にちなんだ料理が提供されたのです。たたみ鰯やお多福豆、柊の葉などが皿を彩った前菜をはじめとして、いずれも目と舌で節分を楽しませてくれるものでした。そして食事の締めには恵方巻き。恵方である東北東を向きながら、実り多き旅を祈ってもぐもぐいただきました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

海の桂林・ハロン湾

Date : 2019/02/04 緯度 : N 20度 52分 経度 : E 107度 6分 天気 : 曇り 気温 : 22.8度 速度 : 16.0ノット
海域 : - 寄港地 : ハロン湾



カメラを携えて朝9時半頃に12デッキへと向かうとそこにはすでに多くの先客がいらっしゃいました。お目当てはもちろん、ハロン湾景。まだこれから水先案内人を乗船させるという時間帯でしたが、眼前にはもう無数の小島や奇岩が海に浮かぶ風景が広がっていました。海の桂林とも称されるこのハロン湾ですが、実際に地質学的に桂林と地続きであるそうです。

11時に予定地点で投錨後、どこからか現れた小さなボートに乗り換えて多くのお客様はハロン湾遊覧へと出かけました。洋上から眺める飛鳥IIの姿も壮観で、これを見るためだけでもツアーに参加する価値はあったのではないのでしょうか。比較的天候にも恵まれ、心地よくそよ吹く海風を頬に受けながら、ハロン湾の景勝をみな思い思いに楽しまれていました。

一方で船内に残ったお客様の楽しみは、この日のための特別なアジアンビュッフェ。アジア風の装いとともにリドカフェにはフォーやトムヤンクン、青パパイヤのサラダなど食欲をそそる今航の各寄港地の名物料理が大集合！窓景に世界自然遺産のハロン湾を従えた、船旅ならではの贅を尽くした昼のビュッフェタイムとなりました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

アジア時間が流れる一日

Date : 2019/02/05 緯度 : N 18度 22分 経度 : E 107度 36分 天気 : 晴れ 気温 : 26.0度 速度 : 8.3ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



終日続いた穏やかな気候に歩調を合わせるように、今日の船内はどこを見回しても慌ただしさとは無縁といった気配が漂います。ハリウッドシアターで催されたベトナム民族舞踊のみなさんのパフォーマンスもどこかのんびりとした雰囲気、船上にしながらどこかベトナムに流れる長閑な時間を体験しているような一日でした。

そんな中、アスカデイリーのスケジュール表を見て気になっていた方も多いと思われるのが、和洋中心のこれまでの食事から趣向を変えた今宵の中華ディナー。期待通り、高級中華の定番・フカヒレの姿煮をはじめ手の込んだ品々が舌を喜ばせてくれました。我がテーブルではデザートは杏仁豆腐も「美味しい！」と評判になっていました。

食事の後は優雅に二胡奏者の曹雪晶さんによるラウンジコンサートへ。「今夜は新月ですが」と断りを入れながら、ドビュッシーの『月の光』、滝廉太郎の『荒城の月』などの月シリーズの演奏を披露してくださいました。演奏終了後、余韻に浸りながら思い出したように夜空を見上げてみると、月明かりの代わりにいくつもの星々が瞬いていました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

初寄港・チャンメイ

Date : 2019/02/06 緯度 : N 16度 20分 経度 : E 108度 1分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 6.7ノット

海域 : - 寄港地 : チャンメイ



今クルーズの初寄港地であるチャンメイ。過去のアジアクルーズで寄港したことのあるダナンよりもさらに北に位置し、ベトナムの主要観光地のひとつ、古都フエまで日帰りでのアクセスも可能な港です。入港シーンは朝焼けの演出も加わり、霽がかった静謐な風景の中をゆっくりと前進していく時間は、他の何物にも代えがたい優美さに満ちていました。

ベトナムではちょうどテト（旧正月）の期間中。家々の前には国旗が掲げられ、予期せずフエに向かう道中の車窓風景を彩ってくれました。ツアーでは世界文化遺産に登録されている王宮をはじめ寺院や皇帝廟などを訪れましたが、そこは一大観光地。どこも外国人観光客がひしめき、香港以来の人々の賑わいを味わいました。

一日観光を終えて帰船すると、どこから現れたのか岸壁には飛鳥IIと記念撮影に興じる地元の家族連れの姿が。ベトナムの伝統衣装・アオザイ風の衣装に身をまとったクルーズスタッフがボン・ヴォヤージュを盛り上げる中、先ほどの家族連れは旧正月のよい思い出が作れたかどうかと余計なお節介を内心に留めながら、夕暮れに染まるチャンメイ港を後にしました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

洋上の興宴ディナー

Date : 2019/02/07 緯度 : N 12度 12分 経度 : E 109度 40分 天気 : 晴れ 気温 : 25.5度 速度 : 15.9ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



毎日アスカデイリーのスケジュールを読み込むことを日課にしているお客様も多いかと思います。数回連続して行われる教室はもちろんだいですが、時おり当日限りのアクティビティを発見すると、興味がむくむくと湧いてつい顔を出してみたくなります。ましてや今夜はインフォーマルナイト。昼から夜まで、特別な催しに船内がぱっと華やいだ一日でした。

まずはピアノの谷坂先生による楽譜の音符・記号の読み方教室。コーラスの後藤先生との掛け合いも軽妙洒脱で、学生時代以来の五線譜読みも楽しく学ぶことができました。続いてアスカプラザのカクテルコンペティションへ。これは4人のバーテンダーがお題に沿ってカクテルを作り、お客様が投票するというもの。見事優勝したアンドリュー&マービン、おめでとう！

そしてインフォーマルの夜は、“フレンチの鉄人”坂井宏行シェフと西口総料理長の夢のコラボレーションディナー。「春をイメージしました」と坂井シェフ。故郷・鹿児島県産の食材を多用した前菜やスープ、メインの肉料理を創作し、一方の西口総料理長は茶葉をテーマにアミューズや魚料理、デザートを担当。一口ごとに驚きと感動が広がる、贅の極みがここにありました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

ときに楽しく、ときに真剣に

Date : 2019/02/08 緯度 : N 7度 1分 経度 : E 106度 40分 天気 : 晴れ 気温 : 27.2度 速度 : 16.4ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



ロングクルーズの醍醐味は日常で触れる機会の少ないジャンルの趣味にも出合えることです。その好例が世界三大カードゲームのひとつ、コントラクトブリッジでしょう。教室にお邪魔すると沖谷先生による戦術解説の真っ最中。素人目にはかなり難解にみえる内容ですが、そこはさすが経験者クラス。お客様はみな熱心に聞き入り、実践的な質問が積極的に飛び交っていました。

アシスタントの宮部先生が丁寧に各テーブルをまわり、ゲームのフォローをしている様子を見届けながら、次に訪れたのが遠藤先生の七宝焼き教室。七宝焼きとは金属を素地とした伝統工芸の一種で、シンガポールまで全6回の教室でペンダントやループタイを制作します。4回目の本教室ではカラフルな釉薬を素地にのせていく、とても繊細な作業を行っていました。

ときに楽しく、ときに真剣に向き合えるような教室があることで、船内生活はぐっと充実の度合いが増します。筆者の写真教室もお客様にとってそうでありたいと願いつつ、最後に向かったのはパームコート。9種のハーブを自身で調合できるハーブティータイムで一息つきながら、今後の教室内容について思案をめぐらせるのでした。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

船上を彩る食と音楽

Date : 2019/02/09 緯度 : N 9度 56分 経度 : E 102度 32分 天気 : 晴れ 気温 : 29.2度 速度 : 14.4ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



終日航海も3日目を数える本日、リドカフェ・リドガーデンのランチでは、坂井宏行シェフ監修のサバのスパイシークレープとバーベキューチキンが特別に振る舞われました。坂井シェフ自らがお客様ひとりひとりに盛り付けてくださる贅沢な特典付きで、「今日こそはリドでランチを」と楽しみにしていた方も多かったのではないのでしょうか？

少し食べ過ぎたお腹をへこまそうと日課の船内散策に出かけると、カードルームで熱心にボードを囲むチェス教室を発見。一方で好天が続く屋外でのスポーツアクティビティももちろん健在。外から汗だくになって戻ってきたスタッフを見ていたら無性にアイスが食べたくなって、結局ダイエットのもくろみは失敗に終わりました。

レムチャバン寄港をいよいよ明日早朝に控え、連続航海最終日の夜を飾るのは石川綾子さんの「ジャンルのないヴァイオリンコンサート」。全身全霊といった言葉がぴったりの気迫あふれるパフォーマンスで、変幻自在に操るヴァイオリンの音色はまるで卓越したヴォーカリストの声を聴いているよう。石川さんの魅力が存分に詰まった圧巻の45分間でした。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

レムチャバン一日目

Date : 2019/02/10 緯度 : N 13度 4分 経度 : E 100度 54分 天気 : 晴れ 気温 : 30.0度 速度 : 13.0ノット
海域 : - 寄港地 : レムチャバン



貿易港らしくせわしく稼働する朝8時のレムチャバン港。後進で港に入り、まるで縦列駐車でもするようにぴたりと岸壁に着岸すると、陸ではムエタイや民族舞踊の方々が私たちの入港を歓迎してくれていました。今航初のオーバーナイトステイとなりますが、観光のメインはパタヤとバンコク。筆者はパタヤへの1日ツアーに同行し、見どころを巡ってきました。

まず向かったのはノンヌットビレッジ。パタヤビーチを車窓観光して南にさらに15kmほど走った先にたどり着いたのは、巨大という言葉でも形容しきれないほどに大きな公園。ゆうに数千人は収容できそうなシアターでタイ文化ショーを観劇したり、象のパフォーマンスを観覧しましたが、くまなく見てまわるには数日を要しそうなほどにすべてが桁違いの施設でした。

その後、一行はサンクチュアリー・オブ・トゥルースへ。パタヤ湾の北の岬に建ち、「東洋のサグラダファミリア」の異名を持つ1981年に建設を開始して以来いまだ未完の巨大木造建造物です。多くの人々が古典技術を用いて黙々と作業している様子は神々しさすらあり、今は亡き施工主の真の思惑はこのたゆまぬ建設そのものにあっただのではないかと考えさせられました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

レムチャバンからシンガポールへ

Date : 2019/02/11 緯度 : N 13度 4分 経度 : E 100度 54分 天気 : 晴れ 気温 : 29.5度 速度 : -ノット
海域 : - 寄港地 : レムチャバン



今日は個人行動されたお客様も多かったのではないのでしょうか？ 筆者はモーターサイ（バイクタクシー）を捕まえ、パタヤ市街を一望できるワット・カオ・プラ・バートを訪れました。約4kmに渡り美しい弧を描くビーチと沿岸に林立するホテル群、沖に浮かぶ無数のボートが組み合わさった風景はなかなか壮観で、雲の切れ間を狙って何枚もシャッターを切りました。

帰船するとショッピングバッグ（お土産）などを両手に抱えてホクホク顔のお客様の姿があちこちに。どうやらそれぞれに充実した滞在となった様子です。ターミナル前に整列して送迎してくれた港湾スタッフに12デッキから大きく手を降って2日間の感謝を伝え、ボン・ヴォヤージュの宴とともに、飛鳥IIは次港シンガポールを目指して出港しました。

この充実した一日を締めくくるのは、シンガーソングライター・SHANTIさんによる「SHANTI'S ACOUSTIC STANDARDS Tour 2019」。グループ感あふれる最初のナンバーでがっちりと観客の心をつかむと、そこから先は独擅場。ギターやピアノのソロパートでは自然と拍手が沸き起こる、演者・観客双方の心が通い合った素晴らしいライブとなりました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

洋上の大運動会

Date : 2019/02/12 緯度 : N 8度 20分 経度 : E 103度 10分 天気 : 晴れ 気温 : 28.0度 速度 : 18.2ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



シンガポールへの寄港を明日に控え、早朝に1時間前進の時刻改正が行われました。これで再び日本との時差は1時間。もう旅の折返しかとスケジュール表を改めて眺めると、終日航海日は今日を含めてあと8日間しかないことに気づきました。それだけ寄港地が充実しているということですが、船上生活の居心地よさもまた捨てがたく、残り8日間を満喫しなくては！という気分になります。

今日の目玉は11デッキ。ASUKAオークションに洋上の大運動会と、お客様参加型のイベントが開催されました。運動会では紅白に分かれて大玉ころがしや障害物競走などを競い、エンターテイメントスタッフもここぞとばかりに体を張って、プールに飛び込んだりと大盛り上がり！ 最終競技の玉入れが決め手となり、紅組の勝利で幕を閉じました。

そして今夜は“マカデミアン増田”こと増田クルーズディレクターがギャラクシーラウンジに登場。彼が厳選したミュージカルナンバーをアスカオーケストラとシンガーたちがバンド形式でお届けしました。船上での日々を楽しく過ごせているのは、趣向を凝らしたアクティビティがあるからこそ。今後どのようなスペシャルイベントが待っているのか、今から楽しみです。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

シンガポールの夜

Date : 2019/02/13 緯度 : N 1度 16分 経度 : E 103度 49分 天気 : 晴れ 気温 : 28.5度 速度 : 10.5ノット
海域 : - 寄港地 : シンガポール



夕方17時、飛鳥IIは頭上をシンガポール本土とセントーサ島を結ぶケーブルカーが通過する、ユニークな岸壁に着岸しました。入港風景をひと目見ようとオープンデッキにはお客様がずらり。垢抜けたモダンなビル群をしみじみ眺めながら、「数十年ぶりに来たけど、本当に変わったねえ」と当時との隔世の感を語るお客様もいらっしゃいました。

夕食を軽く済ませたら、さっそくナイトツアーへ。美しく暮れていくシンガポールのビル景を車窓に眺めながらガーデンズ・バイ・ザ・ベイへと向かいました。ドーム型の植物園を見学し、いよいよハイライトのスーパーツリーグローブのライトアップショーがスタート。それは巨大なアート作品を見ているような、期待値をさらに超える素晴らしいショーでした。

寄港地の夜を堪能できるのは、オーバーナイトステイならではの楽しみです。特にシンガポールは公共交通機関も発達しているので、夜間の足も心配無用。筆者はツアー終了後に街に繰り出し、大勢の多国籍な観光客にまぎれてベイフロント周辺の近未来的な夜景を堪能しました。先日のレムチャバンや香港ともまた異なる、もうひとつのアジアの顔がそこにはありました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

赤道直下のバレンタインデー

Date : 2019/02/14 緯度 : N 1度 16分 経度 : E 103度 49分 天気 : 晴れ 気温 : 30.5度 速度 : -ノット
海域 : - 寄港地 : シンガポール



シンガポール (721.5km²) はほぼ奄美大島 (712km²) ほどの面積の国土に華人系、マレー系、インド系を中心としたルーツの異なる人々が暮らす多民族国家。ものの十数分の移動でガラッと街の雰囲気が変わる体験はここシンガポールならではの、街歩きをするにはうってつけの観光都市です。天候にも恵まれ、赤道直下の太陽の光を浴びて汗をかきながら散策に勤しみました。

午後からは半日観光ツアーに参加し、世界遺産に登録された植物園内の国立蘭園や、途中車窓観光を楽しみながらマーライオン・パークなどを巡りました。特に国のシンボルでもあり、インスタ映えの元祖とも言えるマーライオン周辺は世界各国の観光客でいっぱい！ マーライオンを手のひらに乗せてみたり、みな遊び心のあるポーズで記念撮影に熱中していました。

夕方に帰船すると、キャビンのベッドの上には翌日のアスカデイリーとともに小さな箱が。開けてみると飛鳥IIのロゴが刻印されたチョコレートでした。すっかり忘れていましたが、今日はバレンタインデー。フォーシーズン・ダイニングルームでは食後にバレンタイン特別仕様のチョコレートスイーツが振る舞われ、シンガポール滞在を甘い気分で締めくくりました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

世界遺産・マラッカの街歩き

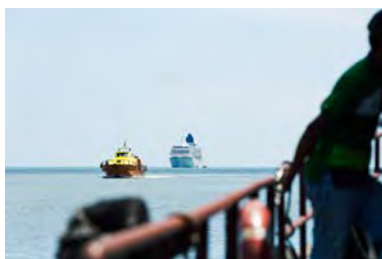
Date : 2019/02/15 緯度 : N 2度 10分 経度 : E 102度 14分 天気 : 晴れ 気温 : 29.6度 速度 : 12.7ノット
海域 : - 寄港地 : マラッカ



マレーシア最古の都であり、15世紀初頭から香辛料貿易の東西中継港として栄えた港湾都市・マラッカ。陸から見ればマレー半島の南部にある地方都市ですが、海から見ればマラッカ海峡に面するいわば玄関口。その背景を知れば知るほど、この現代において航海史に名を刻んだそれぞれの土地をクルーズ船で訪れることが、格別に贅沢なことに思われます。

マラッカは錨泊となるため、上陸は地元の観光船を利用します。筆者は思わぬご褒美をもらったとばかりに、洋上に浮かぶ飛鳥IIの姿を、潮風たっぷり浴びながら目に焼き付けました。マラッカ上陸後も好奇心のままに、オランダ広場やセント・ポール教会の建つ丘など、世界遺産に登録された歴史的な街並みを存分に味わいました。

出港後には、南米パラグアイの民族楽器・アルパの日本人奏者トップデュオによるコンサートが催されました。美しさで有名なマラッカの夕日は雲に隠れてついに見ることは叶いませんでしたが、アルパ独特の透明感のある音色が、遥かマラッカ海峡の洋上で優しく響き渡りました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

アジアンデッキディナー

Date : 2019/02/16 緯度 : N 1度 25分 経度 : E 106度 47分 天気 : 晴れ 気温 : 28.4度 速度 : 17.5ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



3日連続となった寄港地滞在を終えて落ち着きを取り戻した船内では、ゆったり耳を傾けて楽しめるイベントが平穏な午後のひとときに寄り添いました。昨夜演奏したアルパデュオ・志賀昭浩さんと神山理映子さんによる軽妙なトークショーや、ナンタケットバスケット作家の八代江津子さんの講演に足を運ばれたお客様も多かったのではないのでしょうか？

そんな船内がにわかに活気を帯びたのがまだ強い日差しの残る夕刻時、今航の船内イベントの目玉のひとつであるアジアンデッキディナーです。開場30分前のプールサイド入口では待ち切れないといった様子ですすでに大勢のお客様がお待ちで、オープンとともにあっという間に会場は人で溢れ返りました。

落合務シェフ監修の特別メニューが振る舞われたほか、巨大なジャックフルーツの重量当てクイズ、コーラス教室の後藤先生と谷坂先生によるオペラ歌唱、マレーシア民族舞踊グループによる演舞など催しも盛りだくさん。刻々と変化する空の色に合わせるように次々とバラエティに富んだイベントが繰り広げられ、熱狂のままにデッキディナーは幕を閉じました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

エキゾチックカジノ開催！

Date : 2019/02/17 緯度 : N 3度 56分 経度 : E 111度 59分 天気 : 晴れ 気温 : 28.0度 速度 : 15.3ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



昨夜の余韻もつかの間、今日も一風変わった催しを船内各所で見かけました。ショップ・ベガサスでは翌日のブルネイ・ムアラ寄港に合わせて、期間限定でバッグブランド「Takako Mutiara」のアイテムを展示販売中。ブルネイの手織り生地を使い日本の職人が仕立てた逸品は、すべて1点もの。ブルネイの伝統模様も品よく、和装にも合わせやすいとのこと。

一方、昼下がりのプールサイドにはカウンターが特設され、シンガポールで仕入れた新鮮なドリアンの果肉とココナッツのジュースが振る舞われました。恐る恐る人生初のドリアンを食すと、独特の風味はあるものの思いのほか香りはきつくない印象。また醤油をひとさじ垂らして和えるとまるでアボカドのそのように「味変」し、さらに食べやすくなりました。

そして今日の目玉が5デッキ・アスカプラザのカジノ！ 堤船長をはじめオフィサー陣がディーラー役となり、お客様はブラックジャックやルーレットなどのゲームに興じました。制限時間まもなくというところで、どこからか大きな歓声が。チップの獲得数に応じて記念品が入手できるとあって、一喜一憂の声が漏れる思わぬ白熱ぶりでした。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

小さくも豊かな国・ブルネイ

Date : 2019/02/18 緯度 : N 5度 2分 経度 : E 115度 4分 天気 : 晴れ 気温 : 29.4度 速度 : 12.8ノット
海域 : - 寄港地 : ムアラ



ムアラ港に着岸するとさっそくシャトルバスに乗り込んで首都のバンドルスリブガワンへ。車窓から街並みを眺めているとマレーシア以上にアラビア文字が目飛び込んできて、ブルネイが敬虔なイスラム教徒の国であることを想像させます。45分ほどバスに揺られ、白亜の壁と金色のドームが豪華な印象のオールドモスクが見えてきたらそこはもう中心部です。

シャトルバス発着所のショッピングセンターからすぐ脇を流れるブルネイ川に歩を進めると、何やら小型ボートが忙しく往来していました。対岸にあるのは世にも不思議な水上集落。世界最大規模のこの水上集落には約3万人が生活しているとされ、実際に散策してみると新築住宅もあればモスクや学校、消防署まで備えた立派な「町」でした。

出港後にはさらなるお楽しみイベントが。夜も深まるパームコートに集ったお客様のお目当ては、ナマナとクルーズスタッフの秋山&中村ペアによる一夜限りのアイランドミュージックタイム。南国ムードたっぷりのナマナの演奏をバックに秋山&中村ペアが華麗なフラダンスを披露すると、お客様も途中でフラに飛び入り参加！終始笑顔に包まれた夜でした。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

マレーシア再び

Date : 2019/02/19 緯度 : N 6度 0分 経度 : E 116度 5分 天気 : 晴れ 気温 : 33.5度 速度 : 13.0ノット
海域 : - 寄港地 : コタキナバル



昨日のブルネイと同じくボルネオ島の北部に位置するコタキナバルは、マレーシア・サバ州の州都。商業施設も充実し、お買い物に時間を割いたお客様も多かったようです。筆者も、ガイドおすすめのマレーシア名物土産「なまこ石鹸」(写真右下)を購入し、ひとまず家族サービスのノルマは達成。地元客向けのフィッシュマーケットや船着き場周辺など港町風情を楽しんだあとに帰船しました。

恒例のボン・ヴォヤージュを終えても12デッキにはお客様がちらほら。国内最高峰4095mのキナバル山をひと目見ようと遠ざかる島にかかる雲の行方を見守っていました。「値打ちが下がっちゃうから、そう簡単に拝ませてくれないのよ」と諦めムードが漂うちょうどその時、雲の切れ間から独特な形のピークがわずかに出現！それは噂に違わぬ勇ましい山容でした。

無事キナバル山を写真に収め、急ぎギャラクシーラウンジへ。今宵のステージは飛鳥II専属マジシャンTAKUYAによるイリュージョンマジックショー「アナザーワールド」。華麗な世界観のもとに繰り広げられるそのショーは、大掛かりなマジックはもちろん一流のエンターテインメントとしても見応え充分で、旅の非日常性をさらに引き立たてくれるようでした。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

童心にかえるブリッジオープン

Date : 2019/02/20 緯度 : N 10度 37分 経度 : E 118度 10分 天気 : 晴れ 気温 : 27.5度 速度 : 18.0ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



顔見知りのお客様から「ブリッジは行かないの？」と声をかけられ、アスカデイリーを確認すると朝9時からブリッジを開放しているとの情報が。慌ててカメラを手に向かうと、既に多くのお客様でごった返していました。目を輝かせながら写真撮影に興じる姿はまるで少年少女に戻ったかのよう。みなさんロングクルーズで稀に行われる貴重な機会を存分に楽しまれたようです。

航海士から日没時刻のアナウンスが入るほどに空が美しく焼けた夕暮れ時、プールサイドでは「亜細亜夜市」なる珍しいイベントが開催されました。クルーズスタッフが店主を務める屋台が並び、中にはマジシャンのTAKUYAさんによる妖術小屋や占いの館といった変わり種も。夜の帳が下りるとともに夜市は一層の妖しさを放つのでした。

そして今夜の締めは落合務シェフのイタリアンスペシャルディナー。メインディッシュはトリュフペーストのソースが添えられたローストビーフで、ラ・ベットラ名物 ウニのパスタは落合シェフ自ら腕を振るい一度に10人前ずつ作るという手のかかりよう。さらにメニューひとつひとつに入った直筆のサインに、お客様も大変感激されているようでした。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

クルーズ特典ツアー

Date : 2019/02/21 緯度 : N 14度 35分 経度 : E 120度 58分 天気 : 晴れ 気温 : 29.8度 速度 : 15.2ノット
海域 : - 寄港地 : マニラ



数日前から自室担当と思しきフィリピン人クルーに、お客様が出身地や家族についてあれこれ尋ねている場面に出くわす機会が増えたように思います。アスカデイリー情報によると、飛鳥IIでは現在326名ものフィリピン出身のクルーが働いているそう。多くのお客様にとっても、マニラは単なる一寄港地以上に感懷を覚える場所なのではないでしょうか？

そしてマニラでは今航のクルーズ特典として歴史地区の半日観光ツアーが用意されています。筆者は午後のツアーにお邪魔して、歴史地区イントラムロスにある城塞都市の面影を色濃く残すサンチャゴ要塞や、世界遺産で国内にある石造建築のなかで最も古い教会のひとつ、サン・アウグスチン教会といった見どころを訪ねました。

ツアー中盤にはイントラムロスに隣接した公園を貸し切り、民族舞踊ショーが特別に開催されました。フラワーレイとマンゴージュースで歓待され、青空の下でショーがスタート。旧宗主国・スペインの影響を強く感じさせるフィリピン版フラメンコをはじめ、どこか南国の陽気さをまとった賑やかな演舞を生演奏とともに堪能しました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

マニラの長い一日

Date : 2019/02/22 緯度 : N 14度 35分 経度 : E 120度 58分 天気 : 曇り 気温 : 26.8度 速度 : -ノット
海域 : - 寄港地 : マニラ



寄港地ではさまざまなツアーが用意されていますが、なかでもここマニラでの「フィリピン商船大学を訪ねて」というプログラムは趣向が異なります。この大学は日本郵船と現地法人が共同運営しており、見学時には若き学生たちが私たちを出迎え、飛鳥IIをはじめ日本郵船の所有する商船で働くことを夢見て奮闘している姿を見せてくれました。

出港前にはひとつサプライズが。岸壁で見送るフィリピン人クルーの家族たちに向けて、飛鳥IIで初の試みとなるタガログ語での感謝のアナウンスがありました。続くセイルアウェイ・パーティーでは通常は外地寄港地では見られないテープ投げも行われ、この日の主役であるフィリピン人クルーたちは感傷混じりの表情で家族との別れの瞬間を噛み締めていました。

お客様ともども一大イベントを終えたという安堵感が漂う夜、パームコートではナマナと増田クルーズディレクターによる琉球音楽ライブ「美ら唄海流」が催されました。急遽増席するほどの人気ぶりで、クルーズスタッフもエイサーやカチャーシーで参加。本場沖縄の民謡居酒屋さながらの盛り上がりで、起伏に富んだ長い一日は満面の笑みで締めくくられました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

春のお花見ディナー

Date : 2019/02/23 緯度 : N 17度 19分 経度 : E 119度 55分 天気 : 晴れ 気温 : 28.0度 速度 : 12.5ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



今航もいよいよ外地寄港地は台湾・基隆を残すのみということで、これまでの寄港地で集めたさまざまなお土産品が当たるルーレットビンゴをモンテカルロで開催！ 今井ショッピングマネージャーや高木副船長などのゲストディーラーが次々と登場し、お客様も大喜び。ルーレットが回る度に大きな歓声とため息が沸き漏れる、終始賑やかなイベントとなりました。

一方のギャラクシーラウンジではチェロ奏者の姉・林はるかさんとピアノ奏者の妹・林そよかさんのご姉妹をゲストに迎え、「バッハから美空ひばりまで世界の名曲集」と題したコンサートが開かれました。今回はチェロの名曲を中心に、スピッカート奏法の超技巧曲から映画音楽までぴたりと息の合った演奏を披露し、お客様は大きな拍手でそれにお応えしていました。

そしてフォーシーズン・ダイニングルームでは、今夜は少し趣向を変えて春の訪れをテーマとした和食メニューが並びました。鱈の桜葉焼きや烏賊木の芽和えなどが詰まった花見弁当や春の食材を使った炊き合わせなど、どれも味も彩りもやさしく上品な一品で、常夏の国々を巡るなかで忘れかけていた日本の季節を思い出させてくれるようでした。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

ASUKAプールサイドバー

Date : 2019/02/24 緯度 : N 22度 7分 経度 : E 121度 9分 天気 : 曇り 気温 : 24.2度 速度 : 12.4ノット
海域 : 南シナ海 寄港地 : 終日航海日



クルーズ終盤ともなると、がぜん活気だってくるのが音楽やダンスの教室です。明後日26日の発表会に向け練習もいよいよ大詰め。筆者はウクレレ教室とコーラス教室に顔を出しましたが、教室担当講師もいつも以上に熱の入った様子で本番を想定した最終調整に余念なし。しっかりと準備を整えて、本番では思いっきり楽しんでいただきたいものです。

昼食時にはプールサイドで「ASUKAプールサイドバー」が特別オープン。こちらはチケット購入でカクテルコンペティション優勝カクテルの「SKY&SEA」、アジア各地のビールなどが飲み放題となるお酒好きには堪らないイベントでした。その足でリドカフェに立ち寄ると、こちらも負けじと大きなジャックフルーツを展示し、新鮮なフルーツを振る舞っていました。

今航最後のインフォーマルナイトらしく、ギャラクシーラウンジのプロダクションショーもいっそう見応えある内容に。「シネマ」と題し、『雨に唄えば』『マンマ・ミーア』など名曲の流れる名画のワンシーンをステージ上で再現。終了後には出口でキャストらが見送りに並び立ち、滅多にない機会とばかりにお客様が列をなして即席の記念撮影タイムとなりました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

ツアー合同の十分・天燈上げ

Date : 2019/02/25 緯度 : N 25度 8分 経度 : E 121度 45分 天気 : 雨 気温 : 17.0度 速度 : 11.7ノット
海域 : - 寄港地 : 基隆



昔から「弁当忘れても傘忘れるな」と言われるほど雨が多い基隆。飛鳥IIをもってしてもお天道さまは特別扱いすることなく、あいにくの小雨がぱらつくなかでの基隆入港となりました。残念に思う反面で、これまでずいぶんと恵まれてきた天候について特段の感謝もせずに呑気に旅をしていたことを少し反省したのです。

基隆では台湾北部の主要観光地である九份と十分を訪ねるツアーに参加しました。平日にも関わらず九份は観光客でものすごい賑わい。人混みをかき分け風情ある坂の町の散策を楽しむと、夕方には十分へ移動。ここでの目玉は台湾元宵節に行われる「天燈上げ」体験。複数ツアー合同という大所帯で、地元小学校の校庭を貸し切って行われました。

辺りが暗くなるのをじっと待ち、いよいよ火を点けるとカウントダウンで一斉に打ち上げ！ 厚い雲に覆われた宵の空に願い事が書かれた真っ赤な天燈が次々と天高く上っていきました。風に流され遠くの空に消えゆくそれらをじっと見つめていたお客様に、願い事を尋ねると「いつまでも二人仲良く、健康に」との言葉が笑顔とともに返ってきました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

飛鳥IIバースデー

Date : 2019/02/26 緯度 : N 27度 25分 経度 : E 125度 11分 天気 : 曇り 気温 : 17.0度 速度 : 16.6ノット
海域 : 東シナ海 寄港地 : 終日航海日



基隆を出港して北東へ針路を定めた飛鳥IIは、航路図上でちょうど往路のルートと重なり合う位置にありました。南シナ海を中心にぐるっと円を描くように寄港地を巡った今航もいよいよ終盤。円はすでに閉じられ、あとは旅の余韻とともに帰路をたどることになるのでしょうか。オープンデッキで浴びる風の冷たさが、南国での日々をいっそう遠い過去に追いやるようです。

午前中にはタップ・フラ・ウクレレ教室の合同発表会が、そしてアペリティフタイムにはコーラス教室のお客様たちがアスカプラザに駆けつけて歓喜の歌を披露するシークレット発表会が行われました。今航は終日航海日が少なく練習時間の確保も難しかったのではと思いますが、担当講師と一丸となってそれぞれ晴れの舞台で有終の美を飾っていました。

飛鳥II就航13周年を祝うバースデーソングの合唱、さらにバースデーケーキにカラフルな風船が舞い降りるサプライズもあり、フォーマルナイトは一段と華やかに。そしてディナーには飛鳥伝統 黒毛和牛フィレ肉のウエリントンをはじめフォアグラ、キャビア、トリュフなどを使用したまさに贅の極みといった料理が並び、この幸福な時間とともに味わい尽くしました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

笑いと涙のクルーショー

Date : 2019/02/27 緯度 : N 31度 32分 経度 : E 131度 44分 天気 : 曇り 気温 : 15.5度 速度 : 17.5ノット
海域 : 太平洋 寄港地 : 終日航海日



午前8時ごろに左舷側を眺めると目と鼻の先に大きな陸地がありました。どうやら鹿児島県の南端、佐多岬の辺りを通過しているようです。陸の見た目から日本らしさを感じるわけではありませんが、手元のスマホ画面を見るとしっかり電波をキャッチしていて、「こんな日本の感じ方もあるのだなあ」と妙な感心を覚えました。

午前中には飛鳥II芸術展の出品作品の選考へ。筆者担当の写真教室は昨日無事終了いたしました。こちらにもまた力作揃い。堤船長以下オフィサーによる特別賞も設けられ、受賞者へ丁寧にコメントをしたためていました。またパームコートでは5種の茶葉を自由にブレンドできる、今航初のオリジナル緑茶タイムも開催。旅の最後までお楽しみは尽きません。

そしてハイライトはお客様へ感謝の気持ちを込めてお送りするクルーショー。立ち見が出るほどの満員盛況ぶりで、オフィサー陣、フィリピン人クルーも参加して歌や踊り、クイズなどで大盛り上がり。今航で勇退となる桑畑機関長のために機関士一同がステージ上に集結する感動サプライズもあり、ショーは予定時間を大幅に超えて熱狂のうちに幕を閉じました。



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

神戸入港、最終夜

Date : 2019/02/28 緯度 : N 34度 41分 経度 : E 135度 12分 天気 : 雨 気温 : 11.0度 速度 : 13.4ノット
海域 : - 寄港地 : 神戸



朝食の時間帯にリドカフェを通りがかると、グループでお食事していたり立ち話に花を咲かせているお客様を多く見かけました。間もなくの神戸入港を控え、このアジアグランドクルーズで出会った旅仲間との最後の時間を思い思いに過ごしていらっしゃるのでしょうか。その晴れやかな表情から、旅の充実度が伝わってくるようです。

あいにくの雨模様のなか吹奏楽隊による温かな出迎えを受け、予定通り午前9時に飛鳥IIは神戸に入港。ここで約半数のお客様とお別れとなります。出港時間までしばらく自室で待機していると突然、汽笛が大きく3回鳴り響き慌てて外へ。見ると飛鳥IIはすでに離岸を開始していました。午後14時、神戸出港。降りしきる雨はいつの間にか止んでいました。

夕方、船内に漂う独特の静けさにせつかれて、そう言えばと思い出したように手付かずの荷造りに取り掛かります。そして最終夜を彩るプロダクションショー「カーニバル」は、まさに世界中のカーニバルを集めたようなきらびやかさ。終演後には「お気に入りの場所で最後の夜を楽しんで」とMCから一言。そう今夜は特別な夜。みなさん、どちらで過ごされたでしょうか？



Cruise : 2019年アジアグランドクルーズ (33)

2019年アジアグランドクルーズ、完結

Date : 2019/03/01 緯度 : N 35度 18分 経度 : E 139度 44分 天気 : 曇り 気温 : 11.0度 速度 : 16.5ノット
海域 : - 寄港地 : 横浜



お客様最後の共同作業は巨大な絵の制作。お題は「飛鳥II」。それぞれがイメージする飛鳥IIをまとめ上げ、ひとつのパネルに表現する大仕事です。わいわいと楽しみながらもしっかり時間内に絵は完成。太陽がふたつ描かれているのはご愛嬌として、ともあれ制作者全員のサインの入った完成品は、このあとアスカプラザに飾られることになります。

昼食後、12デッキに出向いてほんやりと東京湾景を眺めていると、凼いだ静寂の隙間からブラスバンドの音色が響いてきました。さあ、いよいよ終わりのとき。感傷に浸るのはもう少し後にして、いまはただ無事の帰還をみなで祝って喜びを分かち合いたいと、ぐっと心を奮い立たせて宴に沸くプロムナードデッキへ駆けつけます。

目の前の大さん橋では大勢の方々が私たちの到着を待っていてくれました。出発の日にも見た、似たような景色。それでも少しだけ異なって見えるのは、風景が変わったからか、あるいはそれを見る私たちが変わったのか。みんなで声を合わせて「ただいま！」と叫ぶと、その言葉につられてようやく帰国の実感と安堵感が湧いてくるのでした。

これにて2019年 アジアグランドクルーズは大団円。いつかまた船上で再会できる日を願ってしばしのお別れです。最後までフォトエッセイをご覧いただきまして、どうもありがとうございました！

